

産学官の連携で高機能・高品質の保護帽を開発

介護用品の製造・販売など、医療福祉分野で幅広く事業を展開している株式会社特殊衣料。同社の代表的な製品に、産学官の連携によるプロジェクトで開発された保護帽「アポネット」があります。



▲今までに開発されたさまざまな種類の「アポネット」。転倒予防医学研究会の登録推奨品にも指定されています。

同社が持つ製造のノウハウと市立高専のデザイン力が融合

「アポネット」は、同社が障がい者向けに製造していた転倒時などに頭部を衝撃から保護するヘッドギアを改良し、軽くてファッション性の高い帽子として開発されたものです。



▲新製品の「保護インナー」を持つ池田社長。既製の帽子にも取り付けることができるので、児童の通学帽などにも使用できます。

平成十二年度に設立された札幌市の「福祉用具のデザイン開発・研究プロジェクト」におけるプロジェクト開発第一号として、デザインの監修を当時の札幌市立高等専門学校森田敏昭助教授らが担当、保護機能や縫製技術などのノウハウを持つ同社が製造を担当し、市経済局が調整役となつて「アポネット」は生まれました。

高いファッション性が評価されグッドデザイン賞を受賞

平成十四年に発売した「アポネット」は、頭部保護の機能性と高いファッション性が評価され、平成十五年年度にグッドデザイン賞（財団法人日本産業デザイン振興会運営）を受賞しました。

また、発売以来、新しい素材や技術、そして何よりも利用者の声を取り入れながら、現在も改良が重ねられています。今年三月からは、新たに開発した帽子の内部に取り付けるタイプの「保護インナー」を発売。

これは、靴の中敷きに使われる薄型の衝撃緩衝材を半球型に成型したもので、手持ちの帽子に取り付けることができ、お気に入りの帽子が保護帽に変わるといふ優れたものです。

いろいろな人とのつながりを大切にしているさらには良い製品を

同社の池田啓子社長は「アポネットの開発・改良には、森田先生をはじめ、デザイナーや帽子を専門にする職人の方など本場に多くの人から協力をいただき、感謝しています。これからもいろいろな人とのつながりを大切にして、さらに良い物を作っていきたい」と笑顔で話してくれました。

はっさむいきいきサロン

同社では、社内のスペースの一部を地域の方が気軽に集まって交流できるサロンとして開放しています。どなたでも、くつろげるスペースでお茶を飲みながら、おしゃべりなどを楽しむことができます。「カラオケ」「布あそび」「手打ちそば体験」なども行っていますので、気軽に参加してみませんか？

● 開放日時

毎週月～金曜日の午前10時～午後4時。  
※祝日を除く。

詳細

はっさむいきいきサロン（発寒14-14）TEL (663) 0200



▲サロンでカラオケを楽しむ様子



公共交通機関：地下鉄宮の沢駅発 [宮49-1] [宮74] [宮79-1] または JR 手稲駅北口発 [宮49-1] [宮74] のジェイ・アールバスで [発寒14-14] 下車。  
※駐車場もあります。

雪まつりでも大活躍

平成十七年二月、「さつぽろ雪まつり」を視察に訪れた当時の小泉純一郎首相に、札幌市長から「アポネット」がプレゼントされました。雪まつり会場を歩いて視察した小泉元首相は、贈られた「アポネット」をかぶり、大雪像などを楽しみました。また、今年の雪まつりでも、二十八年ぶりに大通会場に作られたスケートリンクで、転倒時に頭部を保護する「アポネット」が無料で貸し出されました。こんなところでもメイドイン西区が活躍しています。